



DREAM

夢があるから強くなる

YFAアクションプラン2009
Yamagata Football Association

私たちはすべてを大切に思う心で行動します



1 YFAスタート!

NPO法人山形県サッカー協会は「JFA2005宣言」を受け、この宣言に独自の視点を加え、山形県におけるサッカーの発展振興の考え方をまとめた「YFAアクションプラン2009」を策定しました。

山形県サッカー協会は、1947年（昭和22年）に山形県蹴球協会として発足し、2005年に任意団体から特定非営利活動法人（通称NPO法人）となり現在に至っています。この間、県協会の下部組織として地区協会（米沢、長井、山形、新庄、鶴岡、酒田）が組織され、キッズ、スポーツ少年団や中高生のサッカー技術の向上、社会人、シニア、女子やフットサルチームの拡大を推進し、これまで多くの全国大会や国際試合を開催しサッカー競技の普及、発展を図ってきました。

また、1999年にモンテディオ山形がJ2リーグに参戦し2009年には念願のJ1に昇格し、「地域に密着したクラブづくり」の理念のもと全国で活躍しているところです。

これまで、サッカー人口は順調に増加し、サッカーに対する理解も県民の中に定着しつつありますが、近年の少子化に伴う登録人口の減少をはじめとして様々な課題が顕在化してきています。このような現状から、山形県サッカー協会は将来に向けた理念とビジョンを明確にし、目標達成時期を設定した「YFAアクションプラン2009」として行動指針を策定しました。

県内サッカー関係者の皆様には「YFAアクションプラン2009」を御一読いただき、理念を共有しながら本県サッカーの振興、ひいてはスポーツ界全体の振興に尽力されるよう期待するものであります。



平成21年7月

特定非営利活動法人 山形県サッカー協会
会長 桂 木 公 平





2 YFAアクションプラン

山形県サッカー協会及びサッカーファミリーの約束

1.最善の努力

どんな状況でも、勝利のため、また、1つのゴールのために最後まで全力を尽くしてプレーします。

2.フェアプレー

フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面でフェアな行動を心がけます。

3.ルールの遵守

ルールを守り、ルールの精神に従って行動します。

4.相手の尊重

対戦チームのプレーヤーや、レフリー等にも、友情と尊敬をもって接します。

5.勝敗の受容

勝利の時に憤みを忘れず、また敗戦も、誇りある態度で受け入れます。

6.仲間の拡大

サッカーの仲間を増やすことに努めます。

7.環境の改善

サッカーの環境をより良いものとするために努力します。

8.責任ある行動

社会の一員として、責任ある態度と行動をとります。

9.社会悪との戦い

薬物の乱用・差別など、スポーツの健全な発展を脅かす社会悪に対し、断固として戦います。

10.感謝と喜び

常に感謝と喜びの気持ちをもってサッカーに関わります。

JFA2005年宣言

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える。
常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

JFAの約束2015

2015年には、世界でトップ10の組織となり、ふたつの目標を達成する。

- 1.サッカーを愛する仲間＝サッカーファミリーが 500万人になる。
- 2.日本代表チームは、世界でトップ10のチームとなる。

JFAの約束2050

2050年までに、すべての人々と喜びを分かちあうために、ふたつの目標を達成する。

- 1.サッカーを愛する仲間＝サッカーファミリーが 1,000万人となる。
- 2.FIFAワールドカップを日本で開催し、日本代表チームはその大会で優勝チームとなる。

3 YFAの理念とビジョン

【YFAの理念】

**サッカーを通じて
豊かなスポーツ文化を創造し、
心身の健全な発達と地域社会の
発展に貢献します。**

【YFAのビジョン1】

**山形県におけるサッカーの普及に
努め、プレーする人、応援する人、運営
する人が一体となり、スポーツを地域
文化として醸成する環境を
つくります。**



【YFAのビジョン2】

サッカーの強化に努め、県出身選手が国内外で活躍することで、県民に勇気と希望と感動を与えます。

【YFAのビジョン3】

常にフェアプレーの精神を持ち、スポーツ精神を通じて自立できる人間づくりに貢献し、活気がある健全な地域社会づくりを目指します。

YFAは、これらの理念、ビジョンを実現するため、2015年(短期)の目標、2020年(中期)の目標、2025年(長期)の目標を定め、将来への指針として「YFAマスタープラン2009」を策定しました。

組織

- 全てのサッカー愛好者が日本サッカー協会に登録する
- 有資格指導者の総会を開催する
- 保育園や幼稚園で巡回指導を行う
- 父母の負担が軽減なるようなスポーツ少年団の運営とする
- スポーツ医科学委員会を全県的な組織に強化する



DREAM

夢があるから強くなる

スポーツ環境

- 公共施設のサッカーグラウンドにナイター照明設備を設置する
- 地域に開放されたサッカーグラウンドを市町村に2面確保する
- 県内の陸上競技場でサッカー競技を可能とする
- 県内6地区にスポーツマネージャーを配置する

選手

- 育成年代においては学校体育から社会体育への移行を図る
- 全ての年代が加入できるサッカークラブを育成する
- 選手数に見合う有資格指導者の数を確保する
- リーグ戦を優先し、カップ戦を簡素化した年間カレンダーとする



選手

- トレーニングセンター活動の個人負担をゼロとする
- トレセンマッチデーの日程を最優先とする年間カレンダーを構築する
- 指導者の連携を強化するため同一会場の確保を図る
- 心と体の重要性を全指導者に認識させる

4 YFAアクションプラン

モンテディオ山形が、2008年J2リーグにおいて2位となり、2009年J1リーグに出陣しました。今期は「J1定着」を目標に山形の名を全国に轟かせてくれるものと確信しております。

一方、他の年代に目を向けてみると、私たちは、大きな才能を秘めている多くの子どもたちを育成できているでしょうか。

また、私たちは、サッカーを通して社会の一員として地域社会に貢献できているでしょうか。

山形県サッカー協会は、特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を得て新たな活動に踏み出しました。

本県スポーツの振興をはじめとして、山形県の発展のためには、**サッカーを通して社会に役立つ人間形成を行う**と共に、あらゆる年代において**いつでもどこでもサッカーを楽しめる環境をつくり**、モンテディオ山形がさらなる進化を遂げ**世界に山形をアピールできる選手が多くが県内出身者**となるのが非常に重要だと考えます。

サッカー関係者は、常に「他」に対し感謝の心を持たなければなりません。サッカー競技は一人のできる

指導者

- 全ての有資格者は指導現場で実践する
- D級以上の指導者が参加する総会を開催する
- 各地区に3名以上のA級指導者を育成し、トレセン活動の責任者とする
- モンテディオ山形指導者と県内指導者の情報交換を行う



社会貢献・国際交流

○チームとして、個人として継続的な地域貢献活動を実践する

○2種、3種、4種年代において東アジアとの国際交流を実施する

審判員

- 審判トレーニングセンター活動を通じて1級審判員をD級2名以上輩出する
- 20代2級審判員の数を大幅に増加させる
- 高校年代ユース3級審判員を所属チームに配置する
- 女子3級審判員の数を20名以上とする



モンテディオ山形

- 支配下選手の過半数が山形出身者となる
- ホーム戦の県内観客を12,000人以上とする
- シーズンチケット購入会員を6,000人以上とする

でしょうか。選手、指導者、審判、運営、ドクター、サポーター等が一体となって初めて「サッカーは楽しい」を実感できると考えます。

アクションプランでは、「組織」・「スポーツ選手」・「選手」・「選手を支える関係者」・「人間形成」を大きな柱として、目標を明確にしました。目標を実現するためには様々な進め方があると考えますが、実現に至る道筋についても一定程度認識の共有ができるよう表現しました。結果として実現に至らない目標が出るかもしれません。

しかし大事なものは、**サッカー関係者が一丸となって**

目標実現のため努力することだと考えます。

2008年、アメリカ大統領選挙が実施され、アメリカ国民は初めて黒人大統領を選びました。オバマ大統領の言葉「YES WE CAN」がニュースで世界中を駆けめぐりました。

「YFAアクションプラン2009」

「YES WE CAN」

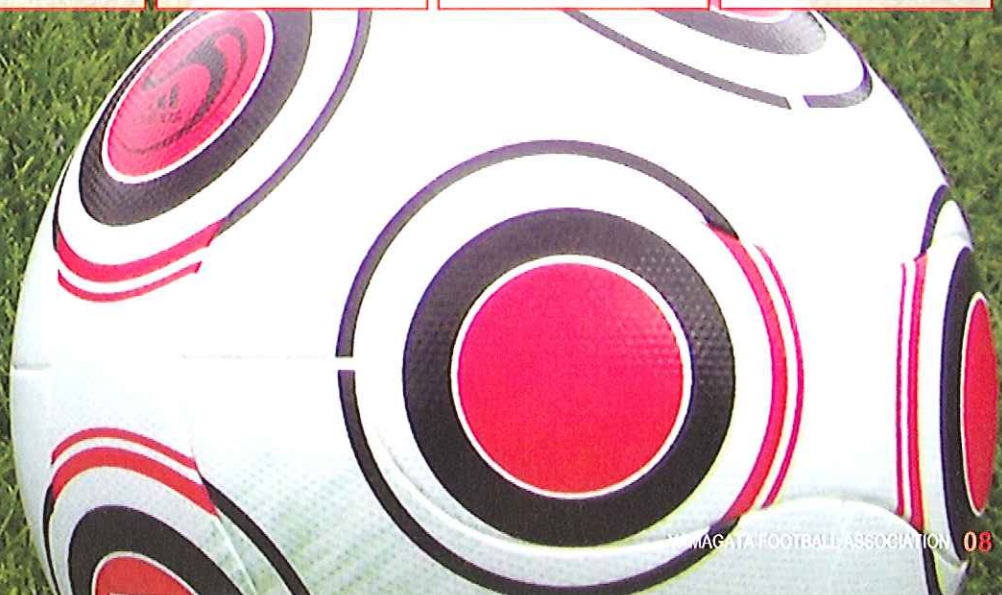
5 YFAの約束

組織等の目標

	県協会	地区協会	各委員会	サッカーファミリー
現在 ～	● 組織を集約して強化を図る		● 女子委員会とフットサル委員会に部会を設置する	● 多くの関係者が関わる試合運営とする
2015 ～	● 県内大会の決勝に1,000人以上の観客を集める	● 全地区の関係者が参加するスポーツ医科学委員会に組織強化する ● 地区協会を法人化する	● すべての委員会に会計責任者をおく	● サッカー協会登録者を15,000人とする
2020 ～	● 県協会に委員会のブースを設置し、会計を県事務局において一元管理する	● 全地区に専任事務局長を配置する		● サッカー協会登録者を16,000人とする
2025 ～	● 予算規模を100,000,000円以上にする			● サッカー協会登録者を17,000人とする

スポーツ環境の目標

	フットボールセンターと スポーツマネージャー	芝生化	ナイター照明	専用球技場
現在 ~	●米沢地区にフットボールセンターを設置しスポーツマネージャーを配置する			
2015 ~	●山形地区にフットボールセンターを設置しスポーツマネージャーを配置する	●各地区のモデル校1校でグラウンドの芝生化を行う	●各地区のモデル校1校でナイター照明を設置する	●すべての体育館でフットサル競技ができる
2020 ~	●すべての地区にフットボールセンターを設置しスポーツマネージャーを配置する	●県内小学校の半数のグラウンドを芝生化する	●県内小学校の全てにナイター照明を設置する	●3万人を収容できる球技専用の県営スタジアムを建設する
2025 ~		●全ての幼稚園、小学校のグラウンドを芝生化する	●県内の全ての小中高校のグラウンドにナイター照明を設置する	



選手環境の目標

	リーグ戦とカップ戦	トレーニングセンター活動	心と体	モンテディオ山形と日本代表
現在 ～	<ul style="list-style-type: none"> ● U-12、U-14、U-16の県リーグを開始する ● U-12、U-14、U-16の地区リーグを開始する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県トレセン活動を定着させる ● 各地区トレセン活動を定着させる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国体候補選手にメンタルトレーニングを試行する 	<ul style="list-style-type: none"> ● モンテディオ山形に県出身選手を送り込む
2015 ～		<ul style="list-style-type: none"> ● 国民体育大会少年の部に毎年出場する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地区トレセン対象選手に選手カルテを導入し、メディカル検査と栄養指導を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● モンテディオ山形の選手が日本代表に選出される
2020 ～	<ul style="list-style-type: none"> ● 1歳刻みの地区リーグを開始する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民体育大会少年の部で優勝する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 育成年代の全選手に選手カルテを導入し、メディカル検査と栄養指導を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内出身選手が日本代表に選ばれる
2025 ～	<ul style="list-style-type: none"> ● 1歳刻みの県リーグを開始する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1歳刻みのトレセン活動が県内に定着する 		

選手を支える関係者の目標

	指導者	審判員	ドクター等	家族及びサポーター
現在	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての指導者が参加するカンファレンスを定期的開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ●審判トレーニングセンター活動を開始する ●フットサル1級審判員を1名輩出する 	<ul style="list-style-type: none"> ●国体チームに医療関係スタッフを配置する 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレーヤーズファーストの考え方を浸透させる取り組みを開始する
2015	<ul style="list-style-type: none"> ●育成年代全てのチームにC級以上の指導者を配置する 	<ul style="list-style-type: none"> ●1級審判員を1名輩出する ●チームに登録する帯同審判員は全て3級以上となる 	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区協定医療機関(ドクター、栄養士)を設置する 	
2020	<ul style="list-style-type: none"> ●県トレセン、地区トレセンに専任の有資格指導者を配置する 	<ul style="list-style-type: none"> ●1級審判員を2名以上輩出する 	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区に1名以上のスポーツドクターを配置する 	
2025	<ul style="list-style-type: none"> ●15名程度に1名の有資格指導者を配置する 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内で開催される全ての大会の準々決勝以上の主審は2級以上で行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●県大会には看護師・トレーナーを配置し、決勝にはドクターを配置する 	



Japan Football Association

サッカーは、同じサッカーをする「仲間」がいて
はじめて成り立つスポーツです。
グリーンカードは、サッカーを通して子供たちに
「仲間を大切にする気持ち」を持ち、
積極的な行動が自然にできるよう励ますために
審判員が提示するものです。



山形県サッカー協会を応援していただいている
賛助会員の皆様です。

特定非営利活動法人
山形県サッカー協会

〒990-0042 山形市七日町1-4-18 トラッドセブン2E
TEL 023-626-5422 FAX 023-626-5423
E-mail fa-yamagata@jfa.or.jp

www.yfa.jp